

## 2017年立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会審査報告

立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会

立教大学現代心理学部では、人間を対象とする心理学研究が倫理的配慮のもとに実施されるために、立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会規程に基づき審査を行った。2017年1月～12月の間に立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会において承認された研究（臨床心理学専攻）は、下記の32件である。

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 柴原 早紀  
研究課題：母親の自己愛的脆弱性と子どもとのアタッチメント関係の関連  
—パートナーとのアタッチメント関係を媒介変数として—

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 山口 暁  
研究課題：自閉スペクトラム症児に対する社会的情報処理を促す教材・教具の検討とその効果評価

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 小川 瑛  
研究課題：カルトカウンセリングを実践する臨床心理士の期待と課題～ラポールの観点から～（研究1）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 内山 雅子  
研究課題：体育会に所属する学生におけるキャリア意識、就職後の職場適応および企業への帰属意識に関する研究—追跡研究における調査結果を通して—（予備調査）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 柴原 早紀  
研究課題：母親の自己愛的脆弱性と子どもとのアタッチメント関係の関連  
—パートナーとのアタッチメント関係を媒介変数として—（その1）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 柴原 早紀  
研究課題：母親の自己愛的脆弱性と子どもとのアタッチメント関係の関連  
—パートナーとのアタッチメント関係を媒介変数として—（その2）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 望月 瞳  
研究課題：境界例傾向とアタッチメント、恋人との関係との関連  
—境界例傾向のある者へのパートナーによる緩衝行動の検討—（予備研究1）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 望月 瞳  
研究課題：境界例傾向とアタッチメント、恋人との関係との関連  
—恋愛のパートナーによる、境界例傾向のある者に対する緩衝行動の検討—（研究1）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 望月 瞳  
研究課題：境界例傾向とアタッチメント、恋人との関係との関連  
—恋愛のパートナーによる、境界例傾向のある者に対する緩衝行動の検討—（研究2）

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 大澤 香織  
研究課題：アスペルガー障害のあるパートナーをもつ配偶者の体験  
―自助会参加に至るまでの体験のプロセスと、参加後の変化に焦点を当てて―（研究1）

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 大澤 香織  
研究課題：アスペルガー障害のあるパートナーをもつ配偶者の体験  
―自助会参加に至るまでの体験のプロセスと、参加後の変化に焦点を当てて―（研究2）

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 内山 雅子  
研究課題：体育会に所属する学生におけるキャリア意識、就職後の職場適応および企業への帰属意識に関する研究―追跡研究における調査結果を通して―（研究1）

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 内山 雅子  
研究課題：体育会に所属する学生におけるキャリア意識、就職後の職場適応および企業への帰属意識に関する研究―追跡研究における調査結果を通して―（研究2）

申請者：臨床心理学専攻博士課程後期課程6年次 岩山 孝幸  
研究課題：近赤外分光法（NIRS）による前頭前野機能と抑うつ的認知処理の関連について ―自己関連づけ処理と形態処理の比較による脱中心化効果測定を試み―

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 崎山 さつき  
研究課題：セルフ・コンパッションが反すうおよび感情調整を介して抑うつ傾向に及ぼす影響

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 花城 清香  
研究課題：メンタルヘルスリテラシーと援助要請意図との関連と促進・抑制要因の探索的検討

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 袴田 あみ  
研究課題：「サイコドラマの主役体験における記憶の再統合の過程と補助自我の影響について  
―複線径路・等至性モデル（TEM）における分析―」 研究1

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 袴田 あみ  
研究課題：「サイコドラマの主役体験における記憶の再統合の過程と補助自我の影響について  
―複線径路・等至性モデル（TEM）における分析―」 研究2

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 上村 奈穂  
研究課題：成人期以前の家庭環境が子どものレジリエンス形成に与える影響 研究1

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 上村 奈穂  
研究課題：成人期以前の家庭環境が子どものレジリエンス形成に与える影響 研究2

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 館岡 一茂  
研究課題：大学生の集団内での役割期待に対する葛藤と適合のプロセスの検討  
―リーダーの個・集団間イメージの一致に着目して―

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 崎山 さつき

研究課題：セルフ・コンパッションが反すうおよび感情調整を介して抑うつ傾向に及ぼす影響

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 小川 瑛

研究課題：カルトカウンセリングにおけるラポールの特徴と形成過程について  
～臨床心理士の観点から～（研究2）

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 辻 美咲

研究課題：教師の対生徒認知と学級問題解決プロセスとの質的検討 ―教師用RCRTを用いて― ①

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 辻 美咲

研究課題：教師の対生徒認知と学級問題解決プロセスとの質的検討 ―教師用RCRTを用いて― ②

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 栗原 智子

研究課題：既婚の中老年男性のアタッチメント・スタイルと抑うつに関連について

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 館岡 一茂

研究課題：大学生の集団内での役割期待に対する葛藤と適合のプロセスの検討  
―リーダーの個・集団間イメージの一致に着目して―

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 清水 宏美

研究課題：ケアする人が自らのアタッチメント・スタイルを知った上で、アタッチメントを理解することの重要性  
―社会福祉施設職員を対象としたASI-Jを用いたアタッチメント研修の効果―

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程2年次 崎山 さつき

研究課題：セルフ・コンパッションが反すうおよび感情調整を介して抑うつ傾向に及ぼす影響

申請者：臨床心理学専攻博士課程後期課程5年次 佐藤 大海

研究課題：アタッチメントの内的作業モデルとストレスがカップル間のアタッチメント行動と保護行動に与える影響

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 清水 宏美

研究課題：社会福祉施設職員におけるアタッチメント理論を用いた研修の効果 予備調査2

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程1年次 成田 智貴

研究課題：「サブリミナル刺激によって虫への恐怖は軽減するか」刺激選定のための予備調査  
―生理指標を加えたVBEの効果―

委員会構成メンバー

林もも子（委員長）、松永美希、小口孝司、都築誉史、石渡貴之